

セルフモニタリング報告書（令和6年度分）

令和 7 年 4 月 30 日

施設名：市民会館
 指定管理者名：北海道クリーン開発・北海道共立コンソーシアム
 所管課名：市民生活部 市民生活課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
1 事業計画の達成度						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画どおり適切に管理運営を行いました。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	利用者数は前年に比べ減少しましたが、前々年度よりは増加しました。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		-	-	-	-	-
自主事業は計画どおり行われたか。	5件（延べ6回）の自主事業を開催しましたが、市民還元コンサート、バックステージツアーは未実施となりました。	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	行政機関や文化団体とも連携をとりながら運営しています。	A	B	C	D	E
2. 利用者の満足度						
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートでは、施設全般として96.5%の利用者から大変満足・満足の回答をいただきました。	A	B	C	D	E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	提案箱、アンケート調査等で意見・要望の把握に努めています。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	意見・要望・苦情については館としての説明責任を十分果たすように努め、可能な限り改善に取り組みました。	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	特に、光熱水費、修繕費など節水・節電のほか自前修繕により、費用の削減を図りました。	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託費についてはほとんどが専門的な知識や技術を要する業務ですが契約期間を複数年にすることで経費が最小限になるよう努めています。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	大・小ホールについては、ホームページに利用状況を掲載し、空き状況が分かるようにしています。 小ホールの暑さ対策として大型扇風機を導入、虫対策として簡易網戸を設置するなど工夫しています。	A	B	C	D	E
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	各種の研修やセミナーに職員を参加させ資質向上に努めました。	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	消防避難訓練のほか、避難経路図や段差注意看板を各所に掲示するなど対策をしました。	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	条例、規則、内規等に基づき、適切に処理しています。	適		不適		

施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	適切に処理しています。	適		不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	専用保管庫の施錠確認と開閉管理簿により情報の出入り管理をしています。	適		不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	適切に処理しています。	適		不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適切に処理しています。	適		不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	収入・支出書類、備品台帳など適正に管理しています。	適		不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	関係法令等を遵守し適正に管理しています。	適		不適
5 地域貢献				
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	可能な限り地元を優先させています。	A	B	C D E

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

平成25年度から受託しました指定管理業務も、特に大きなトラブルもなく、今年度も無事に業務を遂行することができました。この間、条例や規則、内規等を遵守し公平・公正な会館運営と利用者の利便性の向上に努めてまいりました。

当館は開館以来56年が経過する老朽施設ですが、来館者に少しでも気持ちよく利用していただく為に一貫して、館内の清掃、建物周辺と構造物の環境整備に力を入れています。その点は毎年実施している利用者アンケートの結果においても一定の評価を得ることができていると実感しております。

温暖化による猛暑のため、利用者にはご不便をおかけしていますが、少しでも快適に過ごせるよう、昨年度、小ホールに大型扇風機4台の導入に続き、蜂対策として簡易的な網戸を設置し快適性の向上に努めています。無線LANサービスについても昨年度、管理棟の設備を更新し、容量及び速度の改善を図りました。73件の利用申請となりましたが、2回目以降はパスワードが保存されているため、実際はそれ以上の利用があったものと思われます。

自主事業については、参加者の少ない事業も散見されますが、「吹奏楽コンクールフリー練習プラン」、「ホール寄席」、「ピアノデイ」は参加者から大変好評でした。市民還元型コンサートは協力団体の都合がつかず、また、バックステージツアーも日程的に難しく開催できませんでした。

最後に、今年度の利用料収入については、前年度から430万減少し4,623万円になり、利用人数も1万3千人少ない10万8千人となりました。